

結語

糖尿病性筋梗塞が疑われた一症例を経験した。

今回の症例でDMIを疑ったのはMRI所見からであった。しかしその間も本人は強い症状を訴え改善も認められなかったため、血栓塞栓症、横紋筋融解症なども考慮しつつの治療となった。結果的には早期治療により症状の改善を認めたが、どの疾患であったとしても放置していれば重篤な状態に陥っていた可能性が高く、診断が難しい症例に対するEmpirical therapyの重要性を感じた。

DMIを疑う症例では積極的にMRI撮像を行うことで今後の心血管疾患発症リスクを含め、予後を推測できるのではないかと考える。